

CSRに対する意識を高める社内コミュニケーション

社会に対する責任を果たすためには、社会との接点である従業員へのCSR意識の浸透が不可欠、という考えのもと、さまざまな取組みを行なっています。

全国各支店におけるCSR研修

2005年5月から、大和証券グループ本社のCSR室の担当者が、大和証券の全国各支店を順次訪問し、CSR研修を行なっています。CSRの概要と、グループが実施しているCSR活動について紹介し、社員のCSRに対する理解を深めていきます。



CSR研修の様子

内定者に向けたCSRセミナー

2004年12月、大和証券グループは、社員にCSR意識を浸透させるための試みとして、翌春に入社が内定している大学生5名を対象に「『持続可能性報告書』を読む会」を開催しました。CSRについてのレクチャーの後、参加者それぞれが報告書のなかで関心を持ったことについて発表し、引き続き社員4名、

外部コンサルタント2名も加わって、活発に議論を深めました。



「『持続可能性報告書』を読む会」の様子

高校生による経済教育プログラム報告会

2004年9月から半年間実施された京都の立命館高等学校での第二期SCPの報告会を、2005年5月朝日東海ビル（東京・千代田区）で行ないました。「株式会社一丸」を設立して会社運営の実技体験をした生徒たちが成果を発表。50名ほどの有志社員が耳を傾け、発表後は熱のこもった質疑応答となりました。



「株式会社一丸」取締役によるプレゼンテーション

生徒にとっても社員にとっても、SCPの成果を共有する有意義な場となりました。

さまざまなコミュニケーションツールによる情報提供

2004年7月にCSR室が設置されたのを受け、社内誌『不二』に「CSRだより」のコーナーをスタートしました。毎号6～8ページを割り、社内外のCSRの動向、セミナーの告知・報告、環境配慮や社会貢献のニュース、従業員のボランティア活動の紹介を掲載。従業員一人ひとりが大和証券グループと社会の持続可能性について考える機会となるよう、内容を充実させています。

また、イントラネットには、経団連の外郭団体でCSRを推進するCBCC（海外事業活動関連協議会）の発行する『CSRニュース』を掲載し、世界のCSRに関する動向を社員に紹介しています。



社内誌「不二」

TOPICS | CSRウェブサイトリニューアル——デザインを一新、シンプルな構成に

2005年7月にCSRウェブサイトリニューアルしました。トップページにフラッシュを使うなどデザインを一新。コンテンツも整理し、目的の情報に早くたどり着けるよう工夫しました。

コンテンツはシンプルでわかりやすい構成を目指し、「大和のCSRへの取組み」「CSR・SRIを考える」の2つに分類。「大和のCSRへの取組み」では、「社会的責任投資への取組み」「経済・金融教育への取組み」などの項目別に当社グループの取組みを紹介しています。一方「CSR・SRI

を考える」には、大和総研の主任研究員である河口真理子がさまざまな対話を通じてCSRを考える「対話で考えるCSR」など、CSRやSRIへの理解を深めたい人向けの情報を掲載しています。

今後もウェブの特性を活かしたコンテンツを拡充し、やさしく楽しくCSRやSRIがわかるサイトを目指します。ぜひご覧いただき、アンケートに感想をお寄せください。

CSRウェブサイト

URL <http://www.daiwa.jp/branding/>

